



赤ちゃんのきこえと「新生児聴覚検査」 についてのご案内

妊娠の経過は順調ですか。

おなかの赤ちゃんは、お母さんやお父さんの呼びかける声にどんな反応をしていますか？

赤ちゃんの健やかな成長は、誰もの願いです。

誕生した赤ちゃんの1,000人のうち1~2人は、生まれつき耳のきこえに障がいがあるといわれていますが、きこえの障がいは「みえない」ために気づかれにくいという特徴があります。

きこえの障がいは、早く発見して生後6か月の頃から、適切な援助をすることにより、ことばの発達を促し、情緒や社会性を育むことができます。

近年、生まれてまもない時期に、きこえの程度を推測できる検査方法が開発されました。

この検査方法を「**新生児聴覚検査**」といい、産婦人科で出産した後、入院中に検査をします。

検査費用は自己負担ですが、検査に係る費用の一部を助成している市町村もあります。(詳しくはお住まいの市町村へお尋ねください。)

下記の説明をご覧ください、「**新生児聴覚検査**」を受けられるようおすすめします。

どんな検査ですか

赤ちゃんが眠っている状態で、小さい音を聴かせて、その時脳からでる反応を検査器械が測定し、耳のきこえが正常かどうかを判定する検査です。

眠っている時に数分間で終わり、痛みや副作用もない安全な検査です。

すべての赤ちゃんが検査を受けた方がよいのですか

耳のきこえに障がいがあるかどうかは、外見ではわかりにくく、赤ちゃんの様子だけから判断することは困難です。

そのため、是非とも「**新生児聴覚検査**」を受けられることをお勧めします。

この「**新生児聴覚検査**」については、赤ちゃんのお誕生後に詳しくご案内しておりますが、ご不明な点などありましたら、担当医や看護師にお気軽におたずねください。

